

金山町 議会だより

第173号

平成23年 4 月27日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会
〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



安全な自転車の乗り方もみんなで実技学習（4月13日・横田小学校交通安全教室）

〔3月定例会のあらまし 会期／3月10日～16日〕 (ページ)

東日本大震災関連 2～3

平成23年度当初予算可決 4～7

一般質問 「農業の厳しい環境への対応策」等ただす ... 8～12

臨時議会 1月25日、2月17日、3月30日の各臨時議会 13

3・11 東日本大震災

3月11日、東北・関東を襲ったマグニチュード9.0という歴史上稀に見る巨大地震は、各地に甚大な被害をもたらしました。

犠牲になられた方々、そのご遺族の方々に深く哀悼の意を表します。また、地震、津波、そして原子力発電所の事故に、今なお不自由な生活を強いられておられる方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

金山町議会

大震災、町内への影響

東日本大震災は、町内の各事業所にも大きな影響を及ぼしています。どんな影響が生じているのか、議会だより編集委員が町内事業所を回り聞き取り調査を行いました。その一部を紹介させて頂きます。

400号の落石事故より大きな影響

玉梨「玉梨豆腐茶屋」

(佐々木さん)

昨年の国道400号の落石事故よりも影響が大きい。福島第一原子力発電所放射能漏れ事故の風評被害で、客が全くなく止まってしまったようだ。店の従業員も一部休んでもらっている。何とかしてほしい。(4/6調査)

被災地の事業所誘致を積極的に考えて欲しい

大塩「山十建設株式会社」

(滝沢さん)

震災復旧事業(JR関係)の為、既に出向作業中である。震災、放射性物質等の影響について現時点、地元においては感じていない。今後の影響について、公共事業の一

(4/6調査)

関係機関の指導等、状況に応じた対応

農業生産法人「奥会津金山大自然」(渡部さん)

残雪が多く育苗施設周辺の除雪作業中だ。震災、放射性物質等の影響は、現時点では特にはないと思う。県、町、JA、普及所からも特に指示や指導はない。雪消後に耕地の土壌調査の話もあるが、今は育苗準備を進めている。今後、関係機関の指導等、状況に応じての対応となる。(4/6調査)

ゴルフデンウィーク全部キャンセル

玉梨「恵比寿屋旅館」

(坂内さん)

今回の震災・原発事故でゴルフデンウィーク(連休)の予約客は全部キャンセルになった。風評被害で福島県には観光客が来ない。会津は、地震・津波・原発の実質被害はないが、風評被害という第四の被害にさらされている。観光産業への行政の支援施策、また議会の支援を要望したい。

風評により観光客激減

玉梨「坂内商店」

(坂内さん)

大手のビール工場が震災で閉鎖、稼働せず入荷しない状態だ。また、自粛ムードが強く、地域経済に及ぼす影響が大きい。温泉利用客も激減している。風評による観光客の激減は地域経済には死活問題だ。(4/6調査)

4月だけで大型バス52台キャンセル

川口「金山町観光情報センター」 (吉川さん)

ここ数年奥会津、特に只見川沿線は首都圏や関西方面からのお客様で賑わったが、震災翌日から只見線利用の観光バスの予約キャンセルが相次ぎ、既に4月だけでも大型バス52台のキャンセルがあった。今年は東北新幹線の延線もあり、各旅行業者も東北に期待をしていた所だが、現在全てキャンセルのようだ。今後が心配。(4/6調査)

水位の変動が釣果に影響か、ヒメマス釣りの餌も不足

「沼沢漁業協同組合」 (鈴木さん)

4月1日、沼沢湖の



シーズンを迎えている沼沢湖のヒメマス釣り

連休中の客は期待できないか

大塩「岩崎屋旅館」 (三瓶さん)

大型連休中はほとんど法要等地元予約で埋まっており、宿泊予約は受付けていないので、キャンセル等の影響はない。避難者の受入可能調査等があり、可能という報告はしたが、以後何の連絡もなく対応に苦慮している。例年、連休中には毎日少人数の宿泊客はあったが、ことはそれらのお客は期待できないと思う。(4/7調査)

従業員の賃金カットも含め対応

「株会津かねやま」 (栗城さん)

例年こぶし館は春先から入館者が増えるが、今年はさっぱり。スキー場は大きな大会が二つのキャンセルで大打撃、合せて400万以上の売り上げ減。約2000人の宿泊客のキャンセルも含めると、町全体では相当の打撃と思う。加えて、せせらぎ荘では、3月、4月の様々な催し物がキャンセルになり、死活問題だ。従業員の賃金カットも含め対応しているが、早期に通常の状態に戻ることを期待する。(4/6調査)

福島第1原子力発電所事故 当町への影響は



震災前の東京電力福島第一原子力発電所(東京電力株式会社資料から)

会津地方環境放射能測定結果(暫定値)

単位：マイクロシーベルト／時間

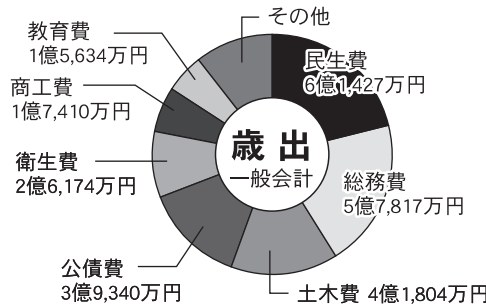
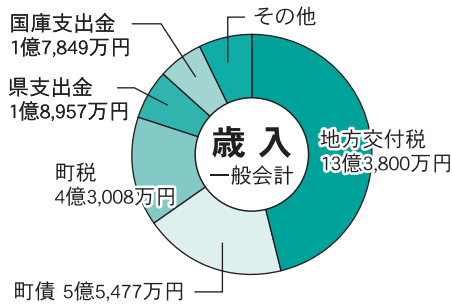
月日	曜	喜多方市役所	北塩原村役場	野沢小学校	磐梯町役場	猪苗代町役場	坂下町役場	湯川村公民館	柳津町役場	三島町役場	金山町役場	昭和村役場	美里町役場
3月20日	日	0.44	0.71	0.18	0.72	0.50	0.75	1.30	0.63	0.38	0.31	0.42	0.53
3月25日	金	0.23	0.41	0.14	0.44	0.26	0.39	0.86	0.32	0.21	0.18	0.27	0.31
3月30日	水	0.22	0.30	0.10	0.32	0.22	0.30	0.43	0.26	0.16	0.14	0.18	0.24
4月5日	火	0.16	0.24	0.11	0.29	0.21	0.22	0.35	0.20	0.16	0.12	0.15	0.18
4月10日	日	0.16	0.25	0.11	0.26	0.19	0.22	0.41	0.18	0.16	0.12	0.16	0.18
4月15日	金	0.16	0.22	0.09	0.23	0.15	0.21	0.33	0.17	0.16	0.11	0.14	0.20
4月20日	水	0.14	0.22	0.11	0.22	0.17	0.20	0.28	0.17	0.15	0.11	0.15	0.17
福島第一原発からの方向及び距離		西北西約105km	西北西約100km	西約124km	西約94km	西約83km	西約108km	西約103km	西約117km	西約123km	西約133km	西約126km	西約105km

- ※1 この資料は、福島県のホームページ(暫定版)の、「県内各市町村、環境放射能測定結果」から抜粋したものです。数値は、福島県が各地点で測定したものです。
- ※2 シーベルトは、生体への被曝の大きさの単位です。ちなみに会津若松市の通常の数値は、0.04~0.05マイクロシーベルトです。(他の地点では、通常測定していません)

「金山町東日本大震災支援対策本部」の取組状況は現在まで、炊き出しボランティア延416名、おにぎり延9022個を会津振興局を通じて、被災された方々等へ届けました。また米や水等救援物資を坂下町・美里町・会津若松市の避難民に送るなど、支援活動を実施しています。

また、地震により事故を起こした福島第一原子力発電所の環境放射能の数値は左表のとおりです。

を可決 (前年度比 3億3,343万円増)



町民1人あたりの収支 (一般会計)

収入先	
地方交付税	52万3,000円 (46.2%)
町債 (借金)	21万7,000円 (19.2%)
町税	16万8,000円 (14.9%)
県支出金	7万4,000円
国庫支出金	7万円
その他	7万9,000円

繰入金、諸収入、地方譲与税など



支出先	
民生費	24万円 (21.2%)
総務費	22万6,000円 (20.0%)
土木費	16万3,000円 (14.5%)
公債費 (借金返済)	15万4,000円 (13.6%)
衛生費	10万2,000円
商工費	6万8,000円
教育費	6万1,000円
消防費	4万3,000円
その他	7万4,000円

・農林水産業費 3万4,000円
・議会費 2万3,000円
・労働費など 1万7,000円

3月定例会は、3月10日から16日にかけて開催されました。平成23年度一般会計当初予算など、32議案が提出されました。再検討を要するため議案の撤回が1件ありましたが、議員提出議案1件を含む32議案を、全て原案どおり可決しました。

平成23年度の一般会計予算は、歳入歳出ともに28億935万5400円（前年比13%の増）となっています。

一般質問には五人の議員が登壇し、町政をたしました。

一般会計の概要

平成23年度一般会計当初予算は28億935万5400円で、前年度と比べ（13%）の増となりました。

た。

増額の大きな要因は、公債費（借金返済）が前年度に引き続き減少するものの、「かねやまホーム」の増床への支援、「道の駅かねやま」や「尾瀬街道横田宿」の整備、あるいは町道整備事業など、投資的事業が大幅に増額になること等によるものです。

町税4億3008万円 367万5千円の減

自主財源の柱である町税は、大規模償却資産に係る固定資産税の減少などにより、対前年比367万5千円（0・8%）の減となりました。

地方交付税13億3800万円（2・9%減）

地方交付税は13億3800万円の計上です。臨時財政対策債（後年度交付税として入る分）と合算すると13億6777万3000円で、前年度比4072万7000円（2・9%）の減と推計しています。

平成23年度一般会計当初予算

28億9,355万円



建設進む田沢橋

主な投資的事業

単位：万円

事業名	事業費
・「かねやまホーム」建築資金補助金	2億7,000
・町道滝沢・田沢線改良工事	2億5,895
・「道の駅かねやま」整備事業	3,800
・町道中川・大栗山線改良工事	2,000
・かねやまネットテレビセンター施設予備機購入事業	2,000
・「尾瀬街道横田宿」整備事業	1,210
・高機能消防司令センター総合整備事業負担金	1,171
・スキー場リフト整備事業	900
・急傾斜地崩落防止対策工事負担金（川口保育所下側）	600
・県総合情報通信ネットワーク機器更新負担金	577
・開発センター耐震診断・基本計画策定事業	466
・農業機械購入事業	300

平成23年度特別会計予算（当初）

特別会計名	平成23年度 当初予算 (万円)	対前年比	
		増減額 (万円)	増減率 (%)
国民健康保険事業	4億0,100	292	0.7
国保診療所運営	1億5,449	1,489	9.6
簡易水道事業	1億2,158	1,231	10.1
町営バス事業	1,711	△94	△5.5
農業集落排水事業	547	△150	△27.4
介護保険	4億6,735	2,928	6.3
特定地域生活排水処理	1億1,428	△960	△8.4
後期高齢者医療	4,559	△217	△4.8
特定環境保全公共下水道	1億3,169	8,933	67.8

※「特定環境保全公共下水道」とは、平成22年度から始まった川口地区の公共下水道事業に関する予算です。



かねやまホーム

「かねやまホーム」増

町債5億5,477万円
3,000円(77・1%増)

床の支援、町道改良事業などに総額5億5,477万3,000円の町債（町の借金）を計上しました。前年度比2億4,147万3,000円（77・1%）の増となります。町債は過疎債（国が70%補助）や地債（国が80%補助）などの有利な制度を活用しながら、財政運営に当たることになります。

Q & A

当初予算の審議に当たっては、活発な質疑が行われました。その一部を要約してお知らせします。

中山間直接払補助 金減額の要因は

問 中山間直接払事業補助金が昨年は777万円程計上されていたが、除外される地区等が出たことにより、今年は495万程に減っている。除外となる要因、並びに地区はどこか。

また、除外地区への応援体制は。

答 中山間直接払事業は5年間の区切りがつくれました。新制度に移行

し、該当する条件が変わったこと等により減額が生じています。
対象となる条件が変わったことにより、大塩・中川地区は対象外になりました。また、上横田地区の一部は対象区域が減少しました。

大塩・上横田地区の皆さんとは、今後「農地・水」等の新制度が整備されてくることになれば情報を提供しながら、対応していきたいと考えています。

問 固定資産の標準課税は1・4%であるが、当町の場合1・7%の税率としている。超過課税分の0・3%分は国保税率の軽減に使うという過去の経過もあるが、町民の福祉向上等、特定して使う考え方はないか伺う。

答 発電所など大規模償却



発電所などの大規模償却資産税は平成22年度決算で約2億9,000万円になる。
(写真は本名発電所)

却資産からの超過課税は相当な税額であり、町の財政を守る考えから継続したい考えです。特定の目的のためにということもありますが、超過課税

除雪機械、宝の持ち腐れにならぬよう

問 コミュニティ助成事業で除雪機購入250万円計上されている。最初は集落で助成を受け購入するものの、使いこなせないという話も聞くが、返納される地域等あるのか伺う。慎重に調査をして助成する必要があると思うが、考えを伺う。

答 過去には大栗山地区

更新されない町ホームページ

問 ホームページの作成、保守管理に387万7000円計上されている。見づらさもあるが一番の問題は、例えば人口は平成19年4月のままというように、更新されないところにあると考える。新しい情報を順次載せていけば、大金を投じる必要もないと考えるがどうか。

答 現在のホームページは10年程前に立ち上げま

からの返納がありました。事業導入の際は、オペレーター・格納庫の確保等地区の中で十分な協議をしていたのだと考えてま



冬期活躍する除雪機械

す。また、助成先の選定に当たっては、慎重な調査をしながら進めていきたいと思っています。

したが、各方面からの指摘を踏まえ全面更新するものです。専門的な知識がないと情報更新ができない課題があり、職員が刻々とデータを更新できるシステムにしたいと考えています。業者選定等、少しでも経費節減ができるよう取組んでいきたいと思っています。

答 補助金は人件費が大きな部分となります。20年度に給与改定により見直しを行いました。3年経った今年度、見直しを行うことになっています。社会福祉協議会の介護保険事業所としての事業会計からの対応や、負担割合の案分等、再度検討していきたいと考えています。

補助金5・6%増 社会福祉協議会補助金

問 金山町社会福祉協議会補助金の1208万円は、前年比5・6%の増

只見線活性化 対策強化の考えは

問 只見線活性化対策協議会負担金に7000円計上されているが義務的な計上とは思えない。只見線は全国的に脚光を浴びている。廃線となることのないよう、また川口高校の存続問題も含め、

活性化対策を強化する考えはないか伺う。

答 只見線活性化対策協議会は只見線のPR、SLやトロッキ列車の運行PR等行っています。最近豪雪により止まっている新潟県側から福島県側の再開通の要望活動を行っています。

JRに対しては沿線町村で、強力な要望活動を行



大震災で、運休となっていたが4月8日から若松～川口間運転開始のJR只見線

一向に進まない 風来沢林道災害復旧

問 風来沢林道の奥は何年か前に崩落しているにもかかわらず、災害復旧が一向に進まない。集落

の人にとっては、春先の山菜、秋のキノコと考え方によっては生活道路であるが、今後どうする気なのか伺う。

答 崩落地の下流は県の砂防指定区域になっている、我々がブルドーザー

展開しています。只見線は自然も含め総合的なもので守られるもので、それを支えるのは住民であり我々と思っています。

統一性が無い 町のキャッチフレーズ

問 金山町の観光パンフレットを見ると「自然教育村」だったり「妖精の里」だったり、統一性が無い。どれが本当の金山の宣伝文句なのか。一つのテーマで進める考えはないか伺う。

答 「自然教育村」については小栗山方面を中心に横浜方面からの子供が多く来町し、山村体験のモデルだとも言われた時期もありました。また「妖精の里」は沼沢湖を中心として、ヨーロッパ風の、妖精が住めるエリアであるとして、ある時期妖精の里の宣言をしました。

当町の場合は宝が多すぎる面もあります。統一したテーマづくりは、皆さんの指導も得て考えてみたいと思います。



「妖精の里」のシンボリックな妖精美術館

で下流に土砂を落として路幅を広げる事はできません。現場の状況では山全体をカットするなど、億単位の費用がかかると

見えています。従って、最も有利な補助を受けながら、安全な道が確保できるように、十分検討していきたいと思っています。

人事

4件の人事案件は4件とも同意しました

教育委員・山口氏に同意

1名欠員となっていた町教育委員会委員に、山口京子さん（中川・59歳）を任命することに同意しました。

任期は、平成25年9月30日までです。

教育委員・目黒氏に同意

任期満了となる星幸雄教育委員会委員の後任として、目黒則雄さん（会津若松市・66歳）を任命することに同意しました。

任期は、平成23年4月1日から4年間です。

監査委員・青柳氏に同意

町監査委員が任期満了となるため、青柳一二さん（水沼・66歳）を再選任することに同意しました。

任期は、平成23年3月17日から4年間です。

固定資産評価審査委員・

新國氏に同意

固定資産評価審査委員会委員が任期満了となるため、新國一男さん（横田・70歳）を再選任することに同意しました。

任期は、平成23年3月25日から3年間です



上横田農用地利用改善組合が取組んでいる耕作放棄地を活用したワラビ園造成

渡部 尚議員の 一般質問



『農業を取り巻く厳しい環境にどう対応するか』

元気な農業支援事業等で対応する―町長

問

町長は常々、産業の原点は第一次産業、すなわち農林業の振興であると言っている。しかし、農業を取り巻く環境は農業就業人口減少、従事者の高齢化、更に生産物の価格不安定など厳しい状況にある。また、後継者確保も非常に困難な

状況にある。町の産業が少ないなかでも、水稲が一番の品目と思う。次の二点について、その対策を伺う。

①高齢化農家の増加による、農地の貸し手借り手の掘り起こし、啓発運動、及び農地の有効利用化対策。

答

町長 昨年は異常気

象による品質の低下や価格の下落などにより、稲作にとって大変な年でした。しかし、国の戸別所得補償モデル対策により、販売農家に対し一定程度の補てんがなされたものと考えています。稲作が一番現金化できる作物であり、耕作放棄地等あらゆる面から考えて、良く精査しながら出来る対応をしたいと思っています。

①町は平成21年度に「元気な農業支援事業」を立ち上げ、高齢などの理由により耕作できなくなった耕地を、代わりの人に耕作してもらうための支援策を実施してきました。耕作を引き受けた認定農業者13名と1団体、集落



異常気象により品質低下や価格低下となった昨年の稲作

ぐるみで耕作放棄地を出さない取組をしている農用地利用改善団体8団体の支援を行っています。

また、JA会津みどりが、農地の貸し手借り手の仲介ができる農地利用集積円滑化団体になっていますので、情報を共有

し取り組みを推進する考えです。

②今後も引き続き、農業委員会等と連携して農地の状況を確認し、関係機関と一緒に耕作放棄地が増えない対策を講じていきたいと考えます。



温泉の多い金山町（写真は玉梨温泉）



五ノ井清二議員の

一般質問

『財政の将来を問う』

後年度に大きな負担を残さない財政を進める―町長

問 景気の低迷、人口の減少等の社会情勢から、税収の大きな伸びは見込めないと思う。小さな我が町、自治体を取り巻く環境はたいへん厳しくな

ると思うが、特に行政内部のかじ取りが鍵になるのではないかと思う。普

通建設事業費の歳出についての取組みについて伺う。また、地方債が増加傾向だが将来に心配はないのか。

答 町長 豪雪、過疎、そして高齢化の中で町民が安心して暮らしていく

ためには、社会資本整備のための普通建設事業の確保は重要な課題と考えます。来年度以降、道の駅の活性化施設事業、かねやまホーム建築支援、町道改良事業、また上下水道関連事業等大規模なインフラ整備が実施され

ます。国・県の支援を最大限に受けて財源を確保し、過疎債、辺地債など国の財政支援のある財源を充当し、後年度に大きな負担が生じない財政を進めていきます。

答 総務課長 投資的事

業は平成23年度がピークで24年度以降は減少していくと予想されます。借入の償還は平成23年度が4億9000万円余り、その後は3億円台で推移し、平成27年度からは2億円の後半と見込んでいます。

『自立の町づくりをどう進めるか』

一次産業を基盤に六次産業化を推進する―町長

問 自立を目指した取り組みを進めるに当たり、産業振興による町内経済の活性化は重要な課題と思う。町の基幹産業である農業を中心に観光も振興を図り、その波及効果として農林業、商工業など他産業の振興を図る必要があると思うがどうか。

振興し、他産業との連携により相乗的な産業になり得るのではないか。町長の考えを伺う。また、農業のマーケット戦略はどうか。

生産、加工、販売、消費、サービス、観光が連携した産業育成に努めていきます。また、本当に安心・安全なものの地産地消を進めたいと考えます。

温泉にきた観光客に地元食材を堪能して頂くことが、農産物の販売拡大、集客に繋がると考え、基盤となる農産物生産を支援しているところです。温泉は町の宝として活用

町内各地に温泉が数多く、町所有の温泉もあり、町全体を温泉の郷として

答 町長 自立を目指すには、基幹産業の農業を中心に観光まで含めた振興対策が重要と考えています。一次産業を基盤とし、六次産業化を推進し、

し、生かせるよう努めていきたいと思えます。マーケット戦略として、当町の地域特性に合った農産物を、旬の時期に当町に来て食べて、買っていただく戦略が重要と考えています。

五ノ井清二議員からはこの他に「造成地について」の質問がありました。



平成23年1月22～23日の「連合埼玉」による除雪ボランティア

奥 高伸議員の 一般質問



『どう進める安全・安心の町づくり』

高齢者等除雪対策事業、例年の3倍の実績―町長

問 安全、安心の町づくりは町が町民に示した町政の基本姿勢であり、町民の生活すべてに関わる課題だと思う。今議会では生活環境整備の二点について伺う。①冬期間の排除雪対策は。今年の冬は近年にない大雪で排除雪に苦慮された家庭は多

い。特に高齢者等家庭にあっては厳しかったが町の認識と対策は。②鳥獣被害対策は。昨年のクマによる被害は農作物に止まらず2件の人身被害まで発生した。人の生活圏での被害発生、町の認識と対応は。

答 町長 町は豪雪対策本部を設置し、特に高齢者・障害者世帯には、排除雪設備補助で今年度8件の助成、高齢者等除雪対策事業では実施回数2回を3回に増やす等で、今年例年の約3倍の除雪を行っています。地域生活支援ネットワーク形

成事業でも、例年の倍以上の出動回数となっています。除雪ボランティアは6団体が、20世帯の除雪を実施しました。今冬はできるだけの対応をしたと思っていますが、十分検証し、制度の見直しを含め検討していく考えです。

有害鳥獣対策として、町は引き続き緩衝帯の設置、電気柵の補助、更には花火による追い払いによりクマが集落に近づかないよう、集落の方々と一緒に実施していきます。また、スムーズな有害鳥獣捕獲が可能となるよう取り組む考えです。

『住宅用火災警報器設置状況は』

91・2%の高い設置率―町長

問 毎日のようにテレビや新聞で火災による死亡事故が報道されている。県内においても昨年は28人が亡くなっており、今年もすでに（2月9日現在）9人の人が犠牲になっている。警報機は火災発生時の逃げ遅れを防ぐのに非常に有効であると言われている。その住宅用火災警

答 町長 平成23年6月1日までの火災警報器設置義務が生じる事に伴い、町は広域消防金山出張所の協力を得、町消防団・婦人消防クラブと一体に

報器の設置義務化（今年の6月1日）が二カ月あまりに迫ってきた。町内の普及状況と町の対策を伺う。

なり設置率向上の活動をしてきました。また、老人福祉の観点から平成20年度以降、ひとり暮らしの高齢者に対して警報器設置の助成を実施してきました。その結果、町内の住宅用火災警報器設置率は、3月9日現在91・2%となっていて、会津管内でも高い設置率になっています。

奥高伸議員からはこの他に「携帯電話不通話地区の解消」の質問がありました。



大人が3人くらい入るといっぱいになる老人福祉センター「ゆうゆう館」の小さい方の浴槽



長谷川菊夫議員の

一般質問

『道の駅の進捗状況を示せ』

施設配置は町・県・電力で協議中―町長

問 長谷川町長2期目のスタートの当初予算であるが、今年はおおし館周辺の道の駅整備が本格的に始まる。22年3月定例会でも質したが、まず地元中川地区の理解が一番

に必要である。関係者に説明等どのように図られているか伺う。また、そ

の際にはどんな意見、要望があったのか。財政の問題、また県との交渉、東北電力の方針等の進捗状況を伺う。

答 町長 3月4日、地元34名の出席のもと、宮下土木事務所と合同説明会を実施しました。地権

者31名のうち出席者は24名でした。説明会後、地権者に具体的な個別説明を行いました。説明会時の意見として、①代替地の確保②表土を新たな土地に利用できるように

③新たな施設づくりは十分検討して④おおし館をもっと魅力ある施設として営業してほしい、等の意見が出ています。

町が整備する施設の財源について、基本的には電源流域交付金を予定しています。県との関係では、国道改良について先日概略設計の内容を地区へ説明しました。施設配置は町・県・東北電力の3者で現在協議中です。東北電力が、道の駅敷地内に水力記念館を建設することは決定していますが、施設の内容は今だ発表されていない状況です。ただ、道の駅のオーブンに合わせた完成を目標にしていることは確認しています。

『片方の、湯船が狭いゆうゆう館』

総合的な利用方法を含め有効活用を検討する―町長

問 昨年から、中川ゆうゆう館の利用時間が午後8時まで延長され、利用者が大変便利になった。ただ、湯船の一方が小さく、2・3人のスペースしかないことが問題で、男女一週間ごとの交代となっている。道の駅に温泉施設との意見もあるが、私はまず、ある施設の利

活用を図るべきと考えるが、ゆうゆう館の改善の考えはあるか伺う。

答 町長 昨年8月から利用者の利便性を考慮し利用時間の延長を図りました。その結果、延長前の3倍に利用者増となったところですが、浴槽の片方が小さく、

大きくして欲しいとの声は承知しています。浴槽を改修する場合、中川温泉の現在の湯量で対応できるか、建物の構造上浴槽だけの改修ができるかなど、全体的に検討している。また浴槽の改修にあたっては構造上の問題等々ありますので、湯量も含め検討していきたいと思っています。

答 町長 昨年8月から利用者の利便性を考慮し利用時間の延長を図りました。その結果、延長前の3倍に利用者増となったところですが、浴槽の片方が小さく、

活用を図るべきと考えるが、ゆうゆう館の改善の考えはあるか伺う。

答 住民課長 中川温泉の大浴場の場合、冬場になると排水口の方は若干ぬるくなる感じがあります。また浴槽の改修にあたっては構造上の問題等々ありますので、湯量も含め検討していきたいと思っています。



昨年のクマによるトウモロコシへの被害

青柳靖美議員の

一般質問



『豪雪の被害と対策は万全か』

国・県に除雪経費の補てんを要望したい―町長

問

今年の冬は近年にない大雪に見舞われ、雪害や、交通事故なども発生している。町では豪雪対策本部を設置し、町民の生活維持や、交通の確保に全力を挙げているが、その現状と対策を伺う。

答 町長 ①（資料配布）町道などの除雪状況、除雪経費と課題は。③高齢者世帯の排除雪状況と対策は。④国県道・町道などの消雪施設（7箇所）の電源遮断は改善できないか。

町道などの除雪状況、除雪経費と課題は。③高齢者世帯の排除雪状況と対策は。④国県道・町道などの消雪施設（7箇所）の電源遮断は改善できないか。

町道などの除雪状況、除雪経費と課題は。③高齢者世帯の排除雪状況と対策は。④国県道・町道などの消雪施設（7箇所）の電源遮断は改善できないか。

町道などの除雪状況、除雪経費と課題は。③高齢者世帯の排除雪状況と対策は。④国県道・町道などの消雪施設（7箇所）の電源遮断は改善できないか。

『有害鳥獣駆除の前進ある対策を』

根本的な打開策は非常に難しい状況―町長

問

クマの被害が各集落から、毎年、報告されている。町民が安心して生活できる有害鳥獣駆除対策について伺う。①近隣町村でサルやイノシシ、日本シカなどの被害が出ているが、町の現状は。

クマの被害が各集落から、毎年、報告されている。町民が安心して生活できる有害鳥獣駆除対策について伺う。①近隣町村でサルやイノシシ、日本シカなどの被害が出ているが、町の現状は。

クマの被害が各集落から、毎年、報告されている。町民が安心して生活できる有害鳥獣駆除対策について伺う。①近隣町村でサルやイノシシ、日本シカなどの被害が出ているが、町の現状は。

クマの被害が各集落から、毎年、報告されている。町民が安心して生活できる有害鳥獣駆除対策について伺う。①近隣町村でサルやイノシシ、日本シカなどの被害が出ているが、町の現状は。

各臨時会でこのようなことが決まりました

1月25日・臨時会

第一回臨時会には、円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策として国から交付される「地域活性化交付金」に伴うものを主とした補正予算、金山町振興計画基本構想・基本計画の策定など6議案が提出され、全議案全員賛成で可決しました。

●平成22年度一般会計補正予算

町営住宅等の改修に係る設計委託・工事費として2015万円、町道等の改修工事費として200万円、診療所屋上防水の設計委託・工事費に1200万円など、総額8367万3千円の増額補正をしました。

●金山町振興計画基本構

想の策定について
振興計画は町の「最上位計画」として、町の10年後の目標を示して、町づくりを総合的に、かつ計画的に推進する計画です。平成23年度から32年度までの計画で、次の5つを町づくりの柱として計画を推進していきます。
①過疎に対応した生活環境づくり
②郷土を担う心豊かな人



診療所屋上防水工事も「地域活性化交付金」を活用して実施される

づくり

③地域特性を生かした仕事づくり

④広域的な連携による地域づくり

⑤住民と町職員の意識改革

●金山町振興計画基本計画の策定について

振興計画の5つの柱の実現のため、前期を5年間で区切る平成23年度から27年度までの計画です。中間で見直しを図るなど、時代の変化に対応可能な計画とします。

振興計画の基本構想、基本計画とも、振興計画審議会より町に答申され、決定したものです。

計画の実現には、町に暮らす全ての人々が「支え合い」の精神を持ち、町民、民間団体、町職員等が、力を結集することで達成されるものです。その他、平成22年度国保会計・簡易水道会計補正予算、財産の取得（太郎布線の町営バス）について可決しました。

2月17日・臨時会

第二回臨時会には、豪雪に伴う除雪経費に係る、平成22年度一般会計補正予算が提出されました。除雪の委託料や燃料代など2518万円の増額を、全員賛成で可決しました。

【問】 今冬、本名地区の道路除雪においては、路盤が30〜40センチも高い圧雪状態になったり、毎朝の除雪後のきれいにしたところに除雪委託された業者が8時過ぎに来て、山のように雪を置いていくというように、高齢者にとっては大変不便をきたした。来シーズンの除

【答】 来年に向け、業者へは技術力のアップ、それに地元雇用の確保について十分に会社を指導しながら、住民苦情のない雪道確保に努めていきたいと考えます。

3月30日・臨時会

第四回臨時会には、「指定管理者の指定について」の議案一件が提出



指定管理者の決まった老人福祉センター

されました。中川にある老人福祉センターの指定管理者について公募したところ、一団体から応募があり、応募のあった金山町社会福祉協議会に指定管理させることに、賛成多数で可決しました。指定の期間は平成23年4月1日から1年間です。



「東日本大震災の復興を」

三月十一日、午後二時四十六分頃発生した地震、会議最大の大きなゆれはマグニチュード9・0、国内史上最大の大地震となりました。想像を絶する自然の力は、過去最大の被害と悲劇をもたらす未曾有の大惨事となりました。被災地の皆様方、被害に遭われた関係者の方々に、心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早く平常の生活に戻れるよう願っています。

幸いにして当町は、直接的に被害も無く、被災地に向けた連日の炊き出し等の取組、被災者の受け入れについても、二百名弱の方々を受け入れることができ、関係者の協力に感謝致します。

避難者は、ほとんど雪の降らない地区の方々、金山町の積雪にはさぞ驚かれたことと思います。今年度の雪は、近年にない豪雪でありました。雪解けを待つ町民と共に、自然豊かな金山町の春の芽吹きを、一緒に迎えていただきたいと思っています。我が金山町、昨年の国道四百号の土砂災害等、近年多くの自然災害に悩まされ、多くの方々に励まされ力を得てきました。今年度から支えあいの町づくりを目標に掲げる我が金山町、被災者の為にみんなで力を合わせ、取り組む時と考えます。

この大地震、特に福島県には大変な問題が起きました。地震で発生した福島第一原発事故は、目に見えない放射性物質の拡散となり、三十キロ周辺住民に立ち退き、避難等の問題と共に県内はもとより、全国民を不安に陥れ二重の災害となっています。地震発生後三週間を経過しても、全く先行きが見えて来ない原発事故、県内全域が汚染されたかの様な風評を伴い、百キロ離れた会津の地も同様の風評被害に困惑の日々、今こそ福島県民一九となり取り組む時と願うばかりです。春遅い金山の地にも、雪解けと共に山々が一斉に芽吹き、山菜の季節が間もなく訪れます。一日も早く原発事故が終結する対策を関係者に望むと共に、被災者の復興を願っています。

(馬場清次)

広域消防に消防新ポンプ車

会津坂下消防署金山出張所に新しい消防ポンプ車が入り、2月28日、役場前でそのお披露目が行われました。以前のポンプ車が平成6年から16年間経過したことにより、更新となったものです。

6・4メートルまで伸びる3連はしご、金属やコンクリートの切断ができるエンジンカッター、あるいは交通事故等救助の際切断や開放に使う、ルーカス油圧式救助器具なども装備されています。



ごあんない

次回の定例会は、6月17日ごろ開会の予定です。
一般質問は6月20日ごろとなります。
お気軽に傍聴においで下さい。

- 役場一階の受付で「傍聴券」を受け取り、4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕

議長 長谷川盛雄

〔編集委員〕

委員長 渡部 菊男

副委員長 奥 高伸

委員 高橋 信彦

渡部 尚

青柳 靖美

次号、金山町議会だより第百七十四号は、八月上旬ごろ発行の予定です。